



たもくてき なん 多目的ダムって何なの

いろいろな目的をもったダム

あなたは、ダムを見に行ったことがありますか。ダムは、たいてい山の中やま なかにあり、大きなダム湖おおがついていて、ボート遊びあそや釣りなどのレジャーたのが楽しめる場所ばしょになっていることが多いおおですね。

ダムを造る目的もくてきは、洪水を調節こうずい ちょうせつすること、発電はつでんすること、農業のうぎょうのためのかんがい用水ようすいにすること、飲み水のみずや工業用水こうぎょうようすいにすることなどです。二つ以上の目的いじょうをもつダムを、多目的ダムたもくてきというのです。

ダムを造るには、ダムに適した場所てき ばしょを選ばなければなりません。ところが、ダムに適した場所てき ばしょには限りがあります。しかも、ダムを造るには、たくさんのお金かねが必要です。そこで、ダムを効率こうりつよく利用りようすることが考えられ、多目的ダムたもくてきが造られるようになったのです。

多目的ダムたもくてきを造るときは、それぞれの目的もくてきの間で、調整あいだをして、水の配分ちようせいを決め、水みずを効率的はいぶんに使うようにするのです。

はつでんりょう まんキロワットいじょう 発電量 100万 KW 以上のダム

日本では、かつては、水力発電すいりょくはつでんが中心ちゅうしんでしたが、今では、火力発電かりょくはつでんや原子力発電げんしりょくはつでんが中心ちゅうしんになりました。それでも、各地かくちに多くの水力発電所すいりょくはつでんしよがあります。

100万 KW 以上の発電量まんキロワットいじょうがある発電所はつでんりょうは、下郷はつでんしよ（100万 KW、福島県ふくしまけん）、今市いまいち（105万 KW、栃木県とちぎけん）、玉原たまはら（120万 KW、群馬県ぐんまけん）、奥清津おくきよつ（100万 KW、新潟県にいがたけん）、新高瀬川しんたかせがわ（128万 KW、長野県ながのけん）、新豊根しんとよね（113万 KW、静岡県しずおかけん）、奥美濃おくみの（150万 KW、岐阜県ぎふけん）、奥吉野おくよしの（121万 KW、奈良県ならけん）、奥多々良木おくたたらき（121万 KW、兵庫県ひょうごけん）、大河内おおこうち（128万 KW、兵庫県ひょうごけん）などです。（監修・保岡 孝之）

